

LPガスCP速報(2025年6月積)

1. 6月積みサウジアラムコLPガスCP (4月30日発表)

プロパン **600** ドル (前月比 -10 ドル)

ブタン **570** ドル (前月比 -20 ドル)

① LPガススポット市況等

米中貿易戦争は、トランプ関税の大幅引き下げ、中国の米国品への関税は10%に下げられたが、中国の中東玉へのシフト避けられず、中東玉を吸収してきたインドから中国、米国玉を中国からインドに回す動きも。OPECプラスの増産と、需要減退懸念から原油が軟化するなか、供給は潤沢、特にブタンの余剰感が強く、ブタン付きカーゴの入札が多くみられ、ブタン安が顕著になってきた。CP先物市況は第4週6月限がプロパン555 ドル 、ブタン530 ドル どころ、極東CFR市況は、第4週で前週比10 ドル 反落のプロパン540 ドル 、ブタン同30 ドル 下落の510 ドル どころまで軟化、極東着価格の下落が際立っている。

米国市場をみると、需要が堅調、輸出は記録的高水準で推移し(グラフ③参照)、全米プロパン在庫は積み上げ時期に入っているが、前年割れが続いている。ただ、在庫水準は5年平均レンジの中央下方に収まっている。モンベルビュープロパンスポット価格は、原油市況の軟化を受けて上旬に354 ドル まで下げたが、第3週に原油市況とともに反発、月間平均では前月比55 ドル 続落の390 ドル / トン どころ(グラフ①参照)。

フレート市況は上昇した。中東市場では、初旬にインドの引き合いが続き、中東玉を求めた中国の手当てで船舶需給が引き締まった。米国市場も初旬の成約ラッシュからタイト化、中東市場の上昇で米国から回船する動きも見られた。米国～極東は100 ドル から第3週には120 ドル まで上昇したが、米国積み極東着価格の値差が拡大せず、採算悪化でキャンセルの情報もあり、フレート市況も弱含みか。

ナフサ市況は4ヶ月連続の下げ、月間平均は前月比6 ドル 下落の571 ドル / トン どころ。原油市況の軟化と石化需要の低迷を受けた。ブタン石化需要も振るわず。

バンカーオイルをみると、原油市況に連れ安、シンガポールIFO380は小幅続落し、月間平均で前月比2 ドル 下落の438 ドル どころ、LSMGO(低硫黄マリンガスオイル)も続落、前月比13 ドル 下落の604 ドル どころ、ガスオイル・C重油との格差は166 ドル に縮小。

6月CPは前年同月比プロパン20 ドル 、同ブタン5 ドル の上昇。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算(下記参照)では、前月に比べプロパン8、ブタン6ポイント上昇、前年同月比ではプロパン30ポイント、ブタン27ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート(中東ー日本)	50	60	70	70	62.5
CP先物指標:P	590	575	585	590	585
CP先物指標:B	575	550	560	565	563

② 原油市況等

5月の原油市況もトランプ関税に翻弄された。WTIは60 ドル 割れの4年ぶり安値でスタート、米中貿易協定で関税が大幅に引き下げられたのを受け金融市場はリスクオン、14日には63 ドル 台まで戻した。原油供給については、OPECプラスが自主減産縮小を4月から実施、5、6月も追加の生産拡大(41.1万b/d)が合意され、7月も増産の見込みで市況の重しとなった。一方、米政権はロシアへの追加制裁を示唆、ロシア産原油の供給に規制がかかる模様。地政学リスクは、イラン核協議に進展がみられたものの、イスラエルネタニヤフがイラン核施設の攻撃言及するなど中東、ロシア情勢の不確実性は増し、先行きは不透明なまま。貿易戦争により景気減速、需要減退が懸念されるなか、OPECプラスの増産で供給超過の見通しが出され、先物市場は、強気のポジションをとるのが難しくなっている。

○5月積みアラビアン・ライト(5月1～29日までの想定)は64.87 ドル (前月比 -6.43 ドル)

熱量等価AL100% プロパン531.87 ドル / トン ブタン524.57 ドル / トン

AL比 プロパン112.81% ブタン108.66%

*上記ALはEIN推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

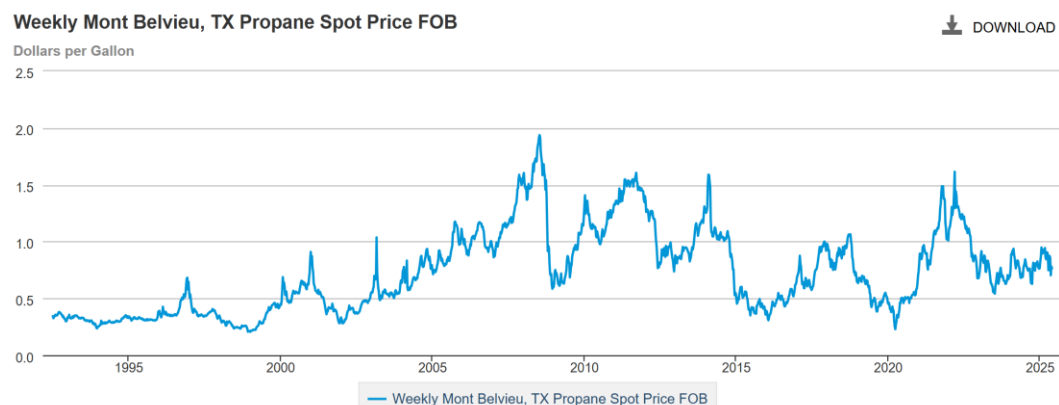
2. 2025年6月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	T T S	P 円建C F R	B 円建C F R	P 前月比	B 前月比
5 月月間	145.75	92,500	93,100	-2,300	-1,900

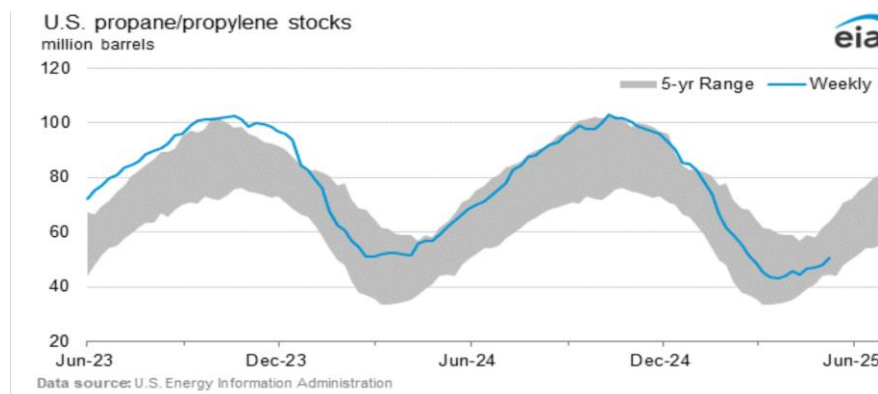
* T T S 平均等について、上記は5月1～30日までのT T S 平均。C P は前月・当月50%案分。プロパンのMB合成比率はC P 70%、MB 30%で算定。C F R コストは中東・北米フレートを含むC F R コストを表示。C F R コストには北米の基地経費等も含まれ、各社で異なる。

なお、上記MBは5月28日までの価格を基にE I N で試算（389ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はW e b サイトを参照。

① 米国プロパンスポット価格推移



② 米プロパン在庫推移



③ 米プロパン輸出量推移

